

第2期牛久市まち・ひと・しごと
創生総合戦略の進捗状況について

令和5年3月
牛久市経営企画部政策企画課

1

第2期総合戦略の概要

1-1. 第2期総合戦略策定の背景

➤ 牛久市人口ビジョンの策定（2014～）

- 2060年の将来人口を展望し、長期的な方向性を提示

総人口「8万4千人」
の維持

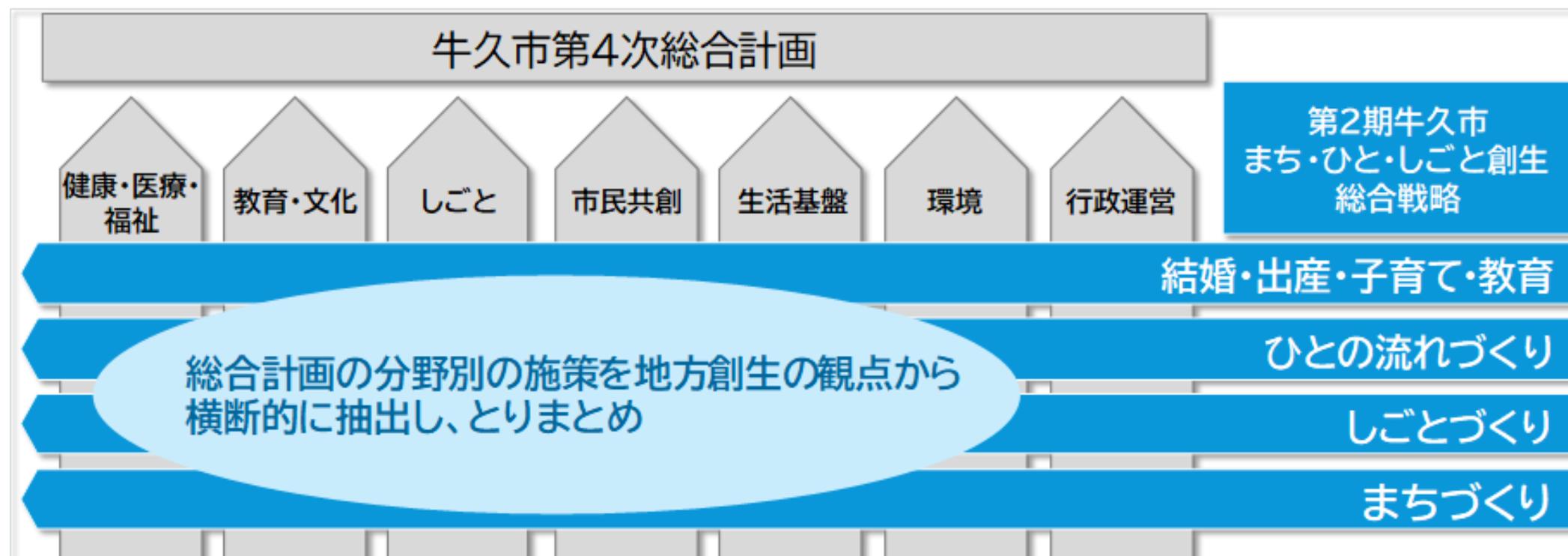
➤ 牛久市第4次総合計画の策定（第1期：2021～2024）

- 本市の行政計画の最上位に位置し、すべての施策を網羅
- 健康、教育、しごとなど、全7分野から構成

笑顔あふれる
にぎわいとやすらぎのあるまち
うしく

➤ 第2期牛久市総合戦略の策定（2021～2024）

- 総合計画の各施策を地方創生の観点から横断的に抽出
- 庁内連携や官民連携（市民や事業者との協働）による施策の推進



1-2. 第2期総合戦略の施策体系

基本目標	基本施策	
1. 若い世代の結婚・ 出産・子育て・教育 の希望をかなえる	1-1. 牛久での出会いと結婚の支援	
	1-2. ずっとつながる 子育て・教育支援	1-2-1. 預かり支援
		1-2-2. 相談支援
		1-2-3. 経済的支援
1-2-4. 保幼小中連携		
1-3. 新しい働き方で子育てと仕事の両立支援		
2. 牛久との つながりを築き、 新しいひとの流れ をつくる	2-1. ちょうどいい 田舎暮らしの実現支援	2-1-1. テレワーカーの移住促進
		2-1-2. 市内企業への就業促進
		2-1-3. 空家の流通促進
		2-1-4. 農業後継者、新規就農希望者への支援
	2-2. 農業を軸とした関係人口の創出	

基本目標	基本施策	
3. 牛久に魅力ある 「しごと」を増やす	3-1. 活力ある産業の創出	3-1-1. 市内事業者への支援
		3-1-2. 起業・創業支援
3-1-3. 企業誘致の推進		
3-2. チャレンジする農業者への支援		
4. ひとが集う、 安心して暮らすこと ができる 魅力的な地域を つくる	4-1. 住みやすい便利な まちづくり	4-1-1. 駅周辺地域における生活機能の向上
		4-1-2. 集落地における生活利便性の確保
	4-2. 市民も観光客も 楽しめるまちづくり	4-2-1. 観光まちづくりの推進
		4-2-2. 文化のまちづくりの推進
	4-3. 安心して生き生きと 暮らせる地域づくり	4-3-1. 医療・福祉サービス機能の充実
		4-3-2. 地域コミュニティの維持・強化
		4-3-3. 自然環境の保全・地域循環型社会の推進

横断的な目標. シティプロモーション

2

令和3年度KPⅠ達成状況

2-1. 評価の手順

- 基本目標と基本施策について、それぞれ「重要業績評価指標（KPI）」を設定
- KPIの目標値に対する達成度を、「A」「B」「C」「D」の4段階で評価（表1）
- 達成率の算出方法は表2、表3のとおり

表2 達成率の算出方法

目標値の種類	算出方法
①目標値以上の実績値を目指す場合	$(\text{実績値}) / (\text{目標値}) \times 100$
②目標値以下の実績値を目指す場合	$(\text{目標値}) / (\text{実績値}) \times 100$
③実績値「0」を目指す場合	実績値が「0」の場合：「A」評価 実績値が「1」以上の場合：「D」評価
④実績値「1」以上を目指す場合	実績値が「1」以上の場合：「A」評価 実績値が「1」未満の場合：「D」評価

表1 指標の評価区分及び評価基準

評価区分	評価基準
「A」	達成率が100%以上
「B」	達成率が75%以上100%未満
「C」	達成率が50%以上75%未満
「D」	達成率が50%未満
「-」	目標値未設定など、何らかの理由により測定できなかったもの

表3 達成率及び評価区分の具体例

指標（例）	目標値	実績値	達成率及び評価区分
①出生者数	545	470	$470 \div 545 \times 100 = 81.3\%$ →「B」評価
②生活が不便だと感じる市民の割合	40.0% （例）	55.1%	$40.0 \div 55.1 = 72.6\%$ →「C」評価
③保育園待機児童数	0	0	(実績値) = 0 →「A」評価
④社会増減数	1以上	-28	(実績値) = -28 →「D」評価

2-2. 目標値の設定

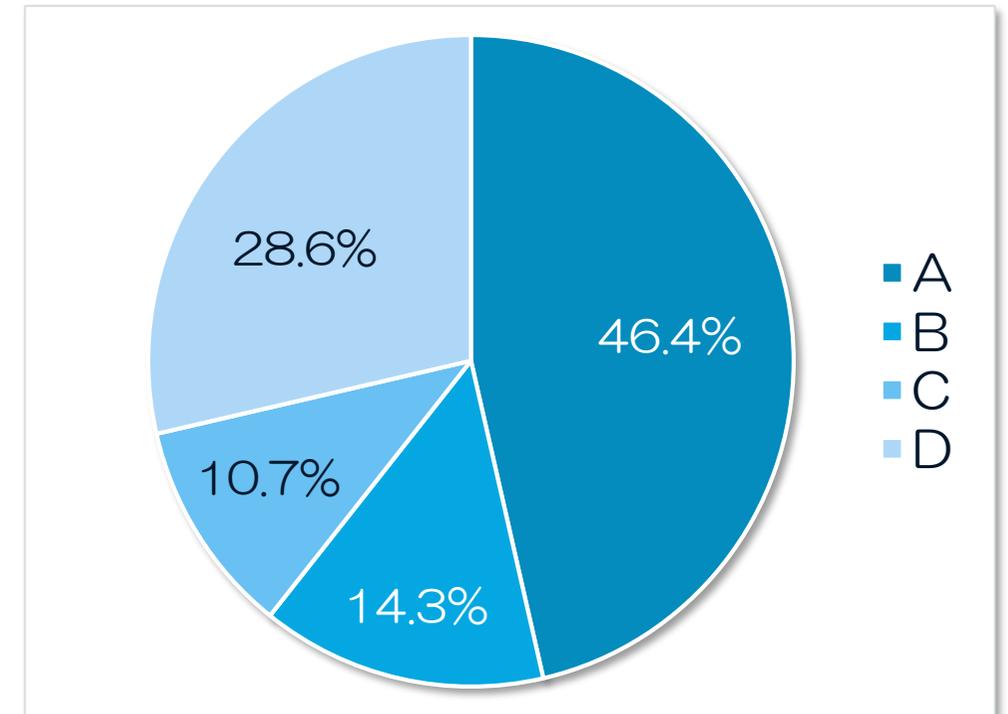
- 第2期総合戦略の策定時に、実績値集計後に目標値を設定するとした指標
- 2022～2024年度までの目標値を設定

指標	実績値 (2021)	目標値			備考
		2022	2023	2024	
各種事業実施による移住者数 (人)	18	18	20	22	<ul style="list-style-type: none"> • わくわく茨城移住支援事業を利用して転入した人数（家族含む） • 空家・空地バンク成立数のうち市外から転入した人数
テレワーカーの移住者数 (人)	5	5	6	7	わくわく茨城移住支援事業（テレワーク要件）を利用し転入した人数（家族含む）
各種事業実施による市内企業 就業者数（人）	62	93	93	93	中小企業退職金共済制度対象者数 （2015～2019の実績の平均値）
各種事業実施によって創出 された就業者数（人）	81	105	105	105	<ul style="list-style-type: none"> • 各種事業実施による市内企業就業者数 • 各種事業実施による新規就農者数 • 事業実施による創業者数

2-3. 令和3年度KPI達成状況

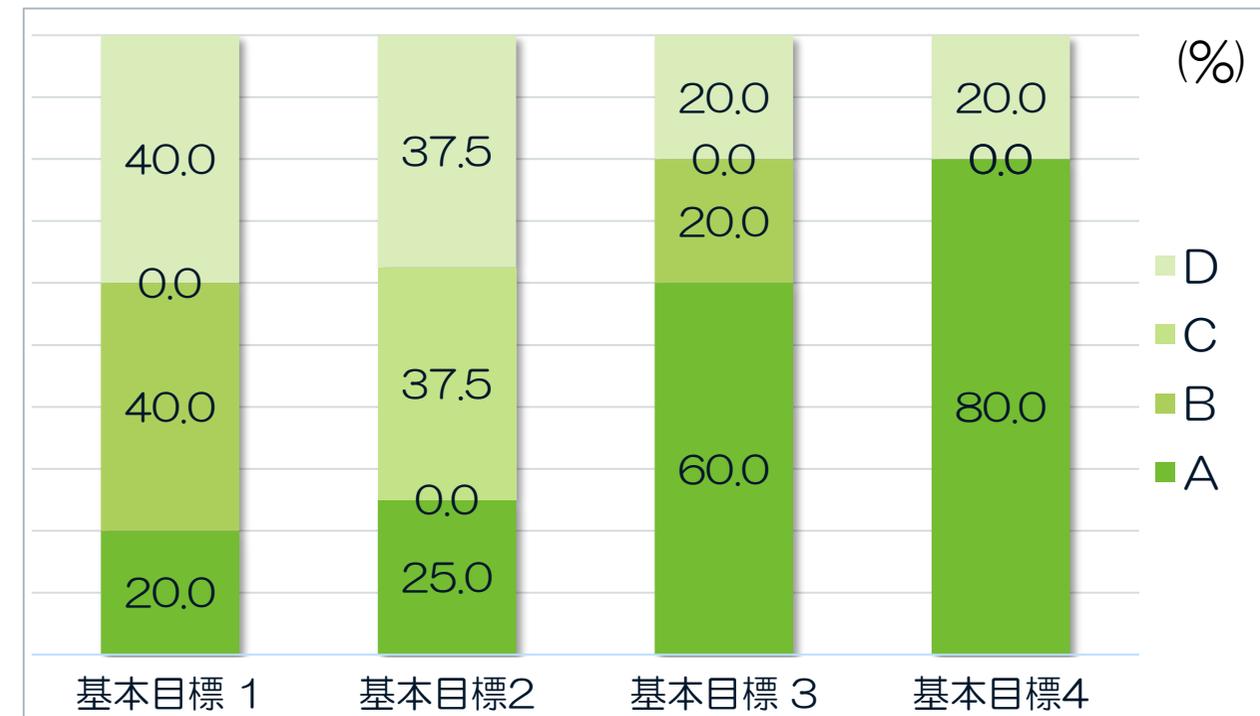
➤ KPI達成状況

評価区分	指標数	割合 (測定不能除く)
A (100%以上)	13	46.4%
B (75~99%)	4	14.3%
C (50~74%)	3	10.7%
D (50%未満)	8	28.6%
— (測定不能)	20	—



➤ 基本目標別のKPI達成状況

基本目標	指標数 (測定不能除く)				
	A	B	C	D	合計
1. 結婚・出産・子育て・教育	1	2	0	2	5
2. ひとの流れづくり	2	0	3	3	8
3. しごとづくり	6	2	0	2	10
4. まちづくり	4	0	0	1	5



2-4. KPI未達成理由（評価区分が「D」のもの）

指 標	結果		未達成の理由・今後の対応
	目標値	実績値	
社会増減数 （「常住人口調査」R3.1～R3.12）	1人以上	-28人	令和3年3月、10月の転出超過が顕著。転勤、就職による転出数増加や、外国人の転入数減少による転出超過。
出会いサポートセンター登録者のうち牛久市民の結婚人数	9人	0人	システムの改修、結婚人数のカウント方法の変更による減少。当該サービスの認知度向上に向けた周知が必要。
放課後児童クラブ待機児童数	0人	20人	ひたち野地区の児童数増加に伴う待機児童の発生。民間児童クラブへの補助金交付や、保護者に向けた事業所の周知・案内を継続的に実施する。
農業体験開催支援数	1件	0件	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント等の未実施。今後は農家、農業法人等関係機関と連携しながら実施を検討する。
農業体験開催参加者数	10人	0人	
農産物の付加価値向上支援件数	1件	0件	学校給食と連携をしていたが、食品の費用面での課題があり未実施。コスト等を勘案し、事業再開を検討する。
事業実施による特産品・食品メニュー開発数	1品	0品	調理専門学校との連携による実施となるが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。今後は状況を見ながら実施を検討する。
観光プランの作成数	3件	0件	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止。令和4年度以降、各種イベント等の再開に伴い、観光プランについても作成・発信する予定。

3

令和3年度取り組み状況

3-1. 牛久市わくわく茨城生活実現事業

茨城県移住支援金

(茨城県わくわく茨城生活実現事業)



移住支援金を活用して、茨城県に移住しませんか？

茨城県内での就職でも、勤務先を変えずにテレワークでも、要件を満たせば支給されます。

里山暮らしや海暮らし、東京へ最短で30分の街もあるなど、多様な暮らしができる茨城県で、「働く、暮らす」をアップデートしませんか。

世帯 100万円

+子ども(※)1人につき30万円

(※)申請日の属する年度の4月1日時点で18歳未満

単身 60万円



<https://iju-ibaraki.jp/>
茨城県移住定住ポータルサイト
Re:BARAKI

- 対象：東京圏からの転入者
- 国、茨城県との共同事業
(国：1/2、県：1/4、市：1/4)
- 県内就業、県内起業、テレワーク、関係人口のいずれかの要件を適用

※子ども1人につき30万円の加算は、令和4年度から実施

支給要件

①移住元

東京23区に**在住** or 東京23区に**通勤**・条件不利地域を除く東京圏(※)に**在住**
いずれも直近10年間のうち通算5年以上

②茨城県での働き方・関わり方

いずれか1つに該当

県内企業への就職

・県が運営するサイト
いばらき就職チャレンジナビ内
移住支援金対象求人に就職
・プロフェッショナル人材、
先導的人材など、**専門人材**
として就職

いばらき就職
チャレンジナビ



県内での起業

県技術革新課が実施して
いる**起業支援金**の交付
決定を受け、茨城県内で
起業

起業支援金HP



テレワーク

移住前と同じ業務
を引き続き行いなが
ら、茨城県内に
移住

関係人口

移住前から茨城と
関わっていて、働
き方に関係なく茨
城県内に移住

(※)要件は、市町
村ごとに異なりま
す。

③申請受付期間

移住支援金実施市町村に転入後、3か月以上1年以内に市町村へ申請

3-1. 牛久市わくわく茨城生活実現事業

➤ 総合戦略での位置づけ

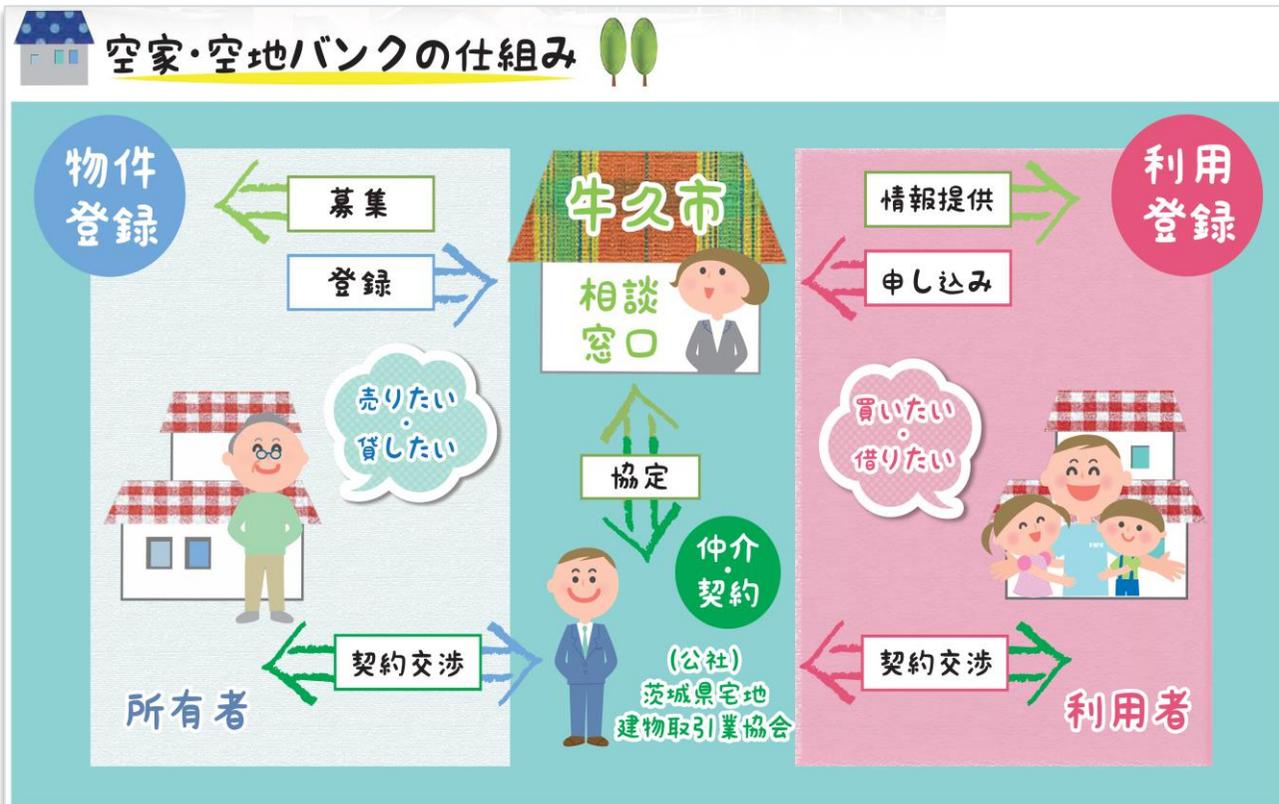
基本目標	基本施策	
2. 牛久とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる	2-1. ちょうどいい田舎暮らしの実現支援	2-1-1. テレワーカーの移住促進

➤ 実績

※申請年度の4月1日時点で18歳未満の者

年度	支給件数（件）		支給額（円）	転入者数（人）		備考
	世帯	単身		合計	子ども※	
R1	0	0	0	0	0	事業開始
R2	0	0	0	0	0	
R3	3	0	3,000,000	7	1	テレワーク、関係人口要件の拡充

3-2. 空家・空地バンク



- 平成29年度 空家バンク事業開始
- 令和2年度 空地バンク事業開始
- 売りたい・買いたい空家、空地进行登録
- 市HPを活用し、物件を売りたい方と買いたい方の橋渡しを行う

(市HP掲載物件例)

【物件番号63】

	駐車スペース2台の物件です。			
	価格	6,500,000円	所在地	下根町
	建築面積	57.81平方メートル	土地面積	161.68平方メートル
	建築年	昭和57年	詳細情報	物件登録番号63詳細情報ページ

【物件番号89】

	閑静な住宅街にある更地です。			
	価格	1,500,000円	所在地	小坂町
	建築面積	—	土地面積	225.01平方メートル
	建築年	—	詳細情報	物件登録番号89詳細情報ページ

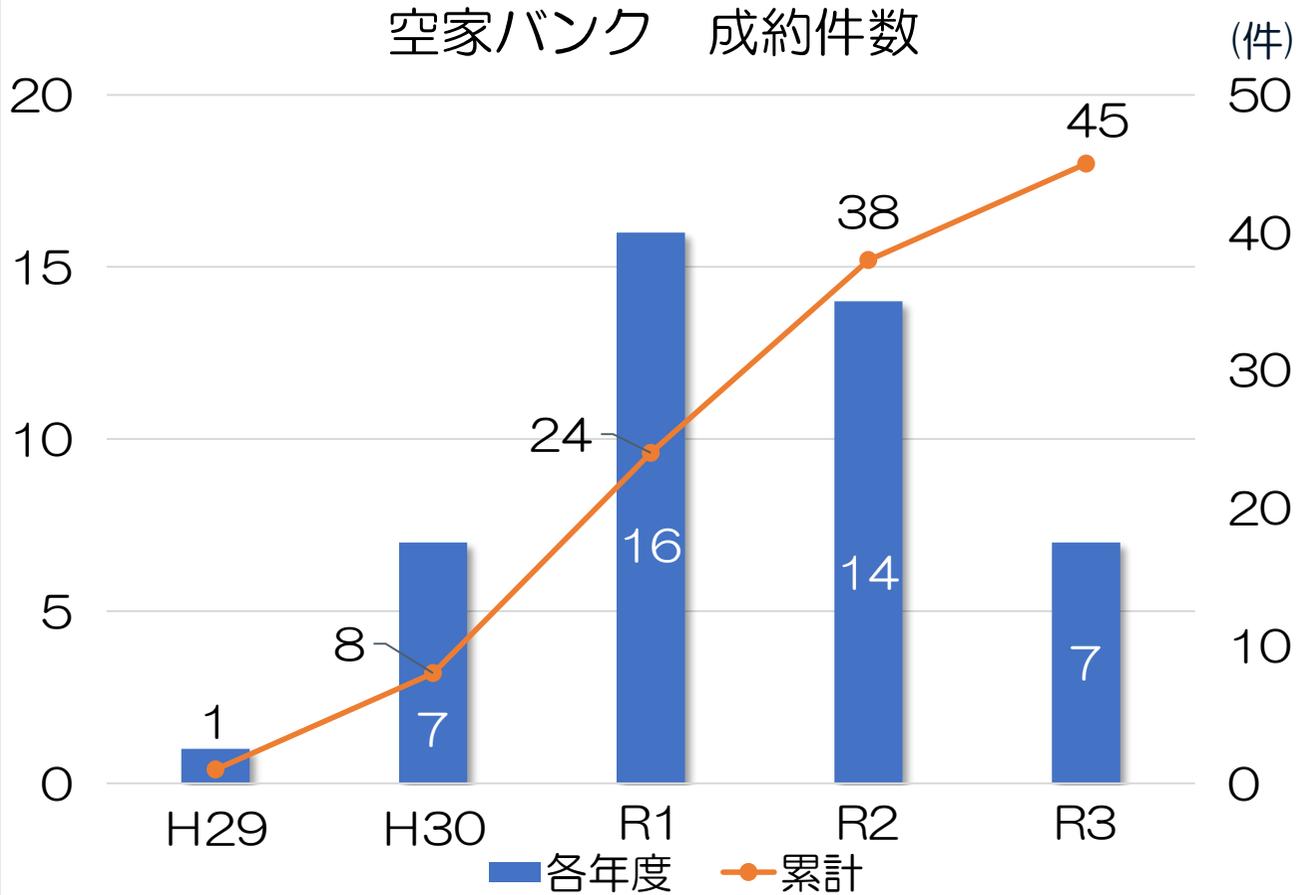
3-2. 空家・空地バンク

➤ 総合戦略での位置づけ

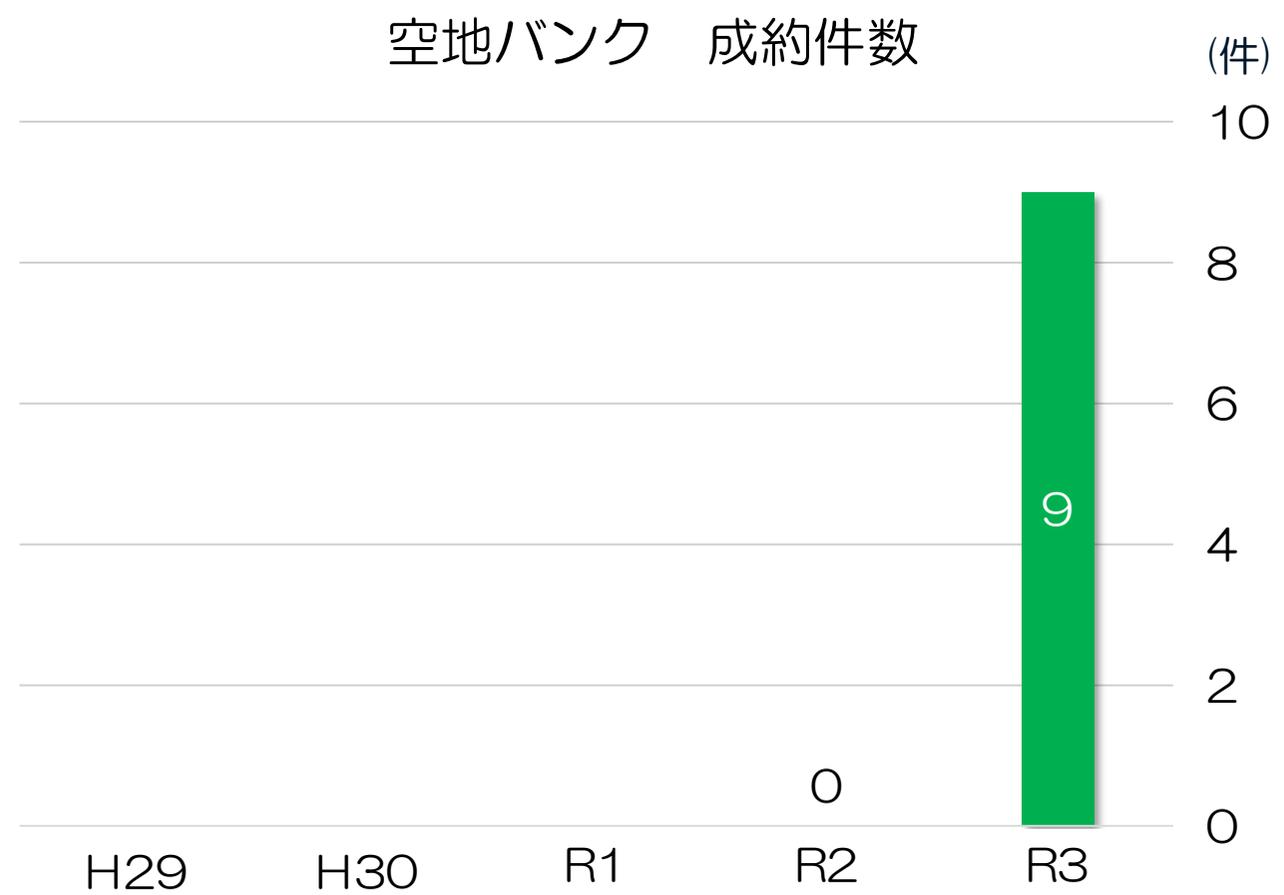
基本目標		基本施策	
2. 牛久とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる	2-1. ちょうどいい田舎暮らしの実現支援	2-1-3. 空家の流通促進	

➤ 実績

空家バンク 成約件数



空地バンク 成約件数



3-3. デマンド型乗合タクシー（うしタク）



牛久市乗合タクシーの名称が決定！

10月1日から、市の新しい移送サービスとして牛久市乗合タクシーが始まりました。名称は「うしタク」。8月中に乗合タクシーの愛称を募集し、全18件の応募の中から選考を行い上記に決定しました。ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。

【応募者】福田 シゲ子さん(市内在住)

【愛称の説明】牛久市のタクシーなので、分かりやすく、覚えやすいものをイメージしました。

かっぱ号も
新ルート
運行開始！



ぜひご利用ください！



牛久市乗合タクシー

うしタク



事前予約制で
便利にご利用いただけます

利用できる人

牛久市に住民登録があり、「乗合タクシー会員登録」済みの方
登録無料

運転手の介助なしにお一人でも乗降ができる方。または介助者の同乗が可能な方

運行日時間

月曜日から金曜日の
午前8時30分～午後5時まで

最終便の出発は午後4時
土日祝日及び年末年始
12月29日～1月3日は連休

運行区域

牛久市内全域



運行区域は、牛久市内全域、及び龍ヶ崎済生会病院

基本運賃	割引制度			
1乗車(片道) 700円/人 未就学児 無料	障害者割引 1乗車 600円/人 乗車時に障害者手帳又はミライIDの提示が必要です。	高齢者割引 1乗車 600円/人 対象：満 65 歳以上の方	小人割引 1乗車 600円/人 対象：小学生の方	乗合割引 1乗車 500円/人 対象：目的地まで2人以上での乗合移動となった場合




3-3. デマンド型乗合タクシー（うしタク）

➤ 総合戦略での位置づけ

基本目標

4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

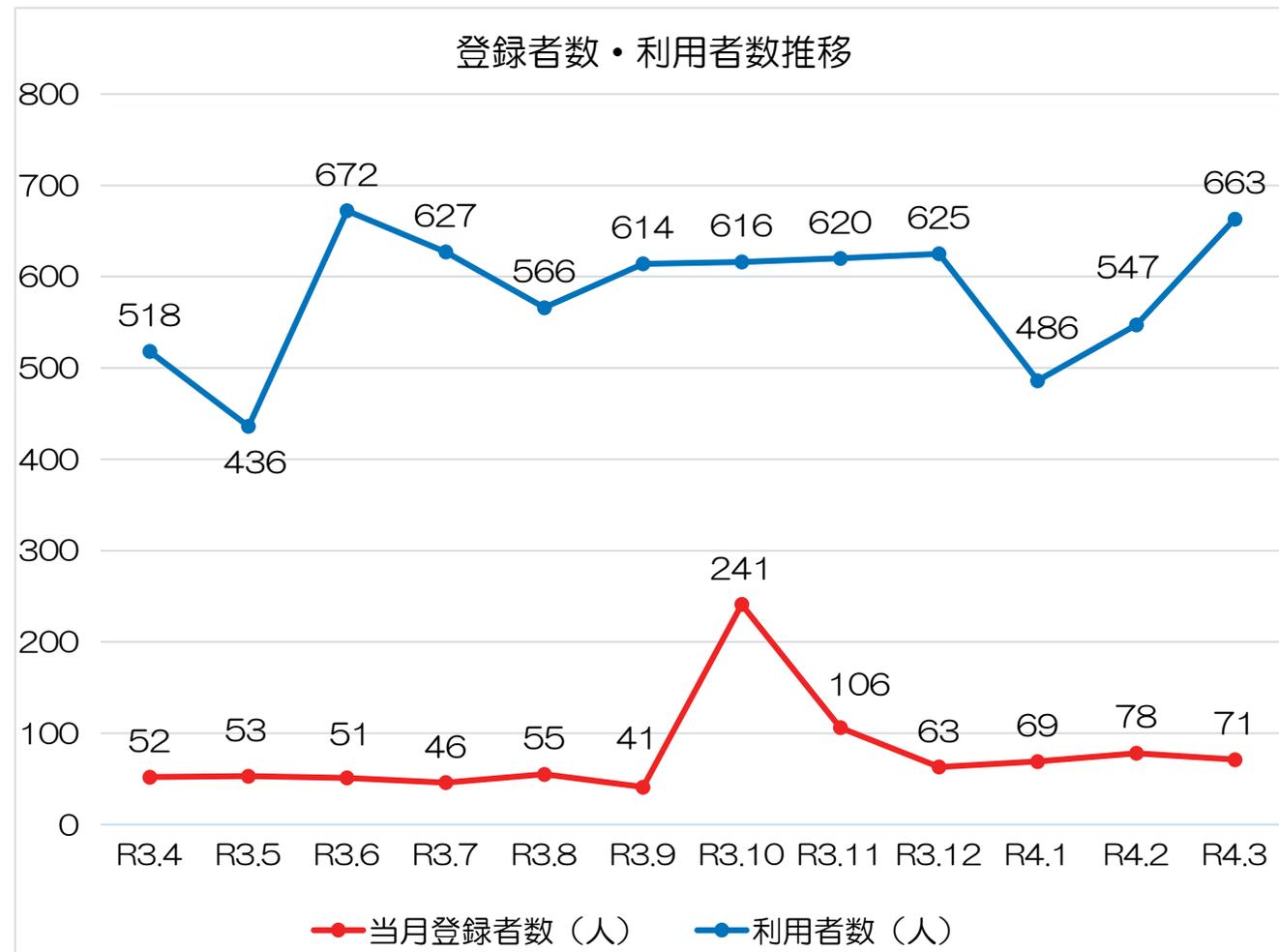
基本施策

4-1. 住みやすい便利なまちづくり

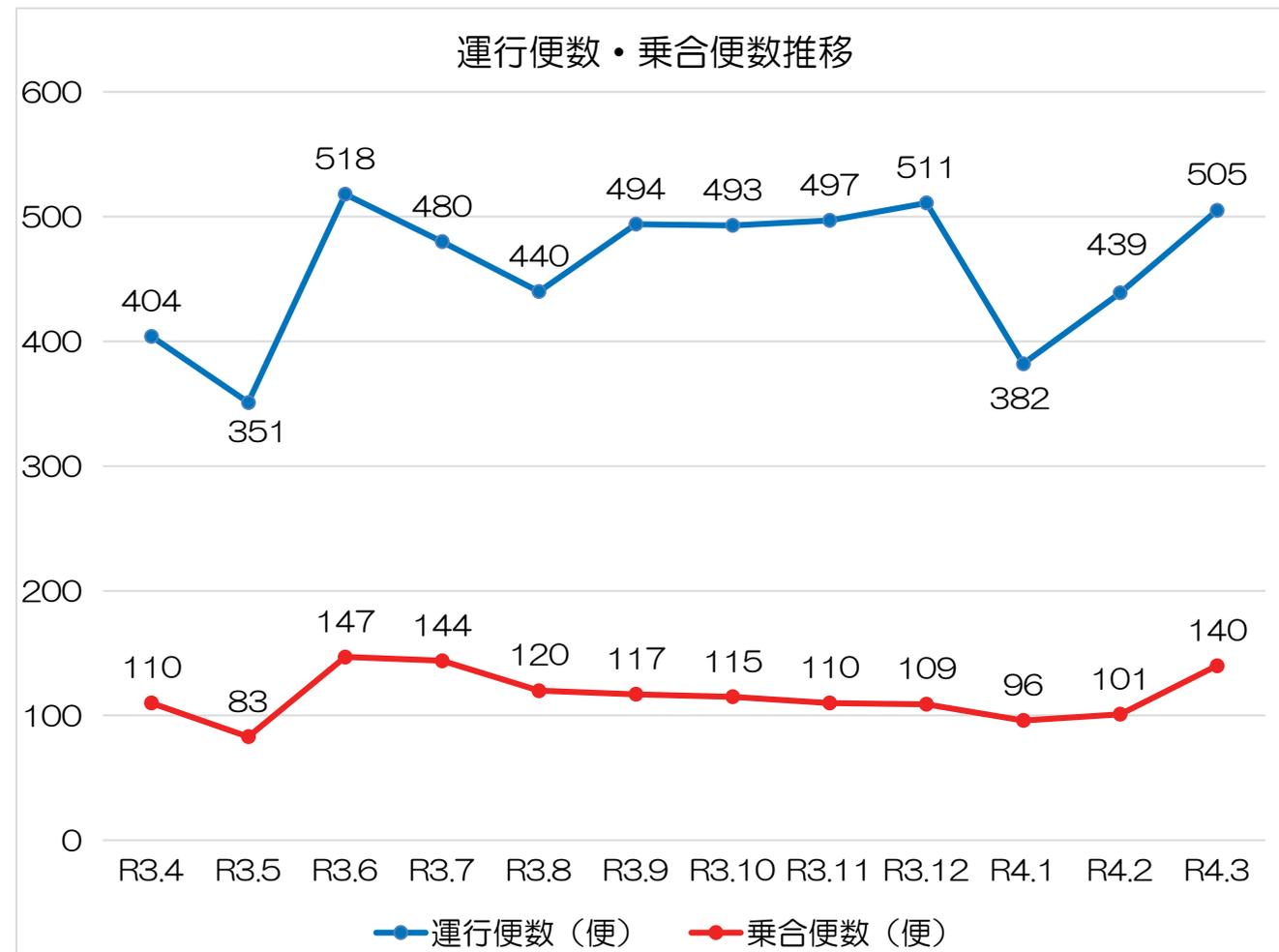
4-1-2. 集落地における生活利便性の確保

➤ 実績

登録者数・利用者数推移



運行便数・乗合便数推移



3-4. 住井すゑ文学館の公開活用

- 作家 住井すゑの書斎、住宅
- 平成30年に遺族より牛久市に寄贈 → 改修工事を実施
- 令和3年11月 開館
- 住井すゑの原稿・蔵書・愛用品等の資料を展示

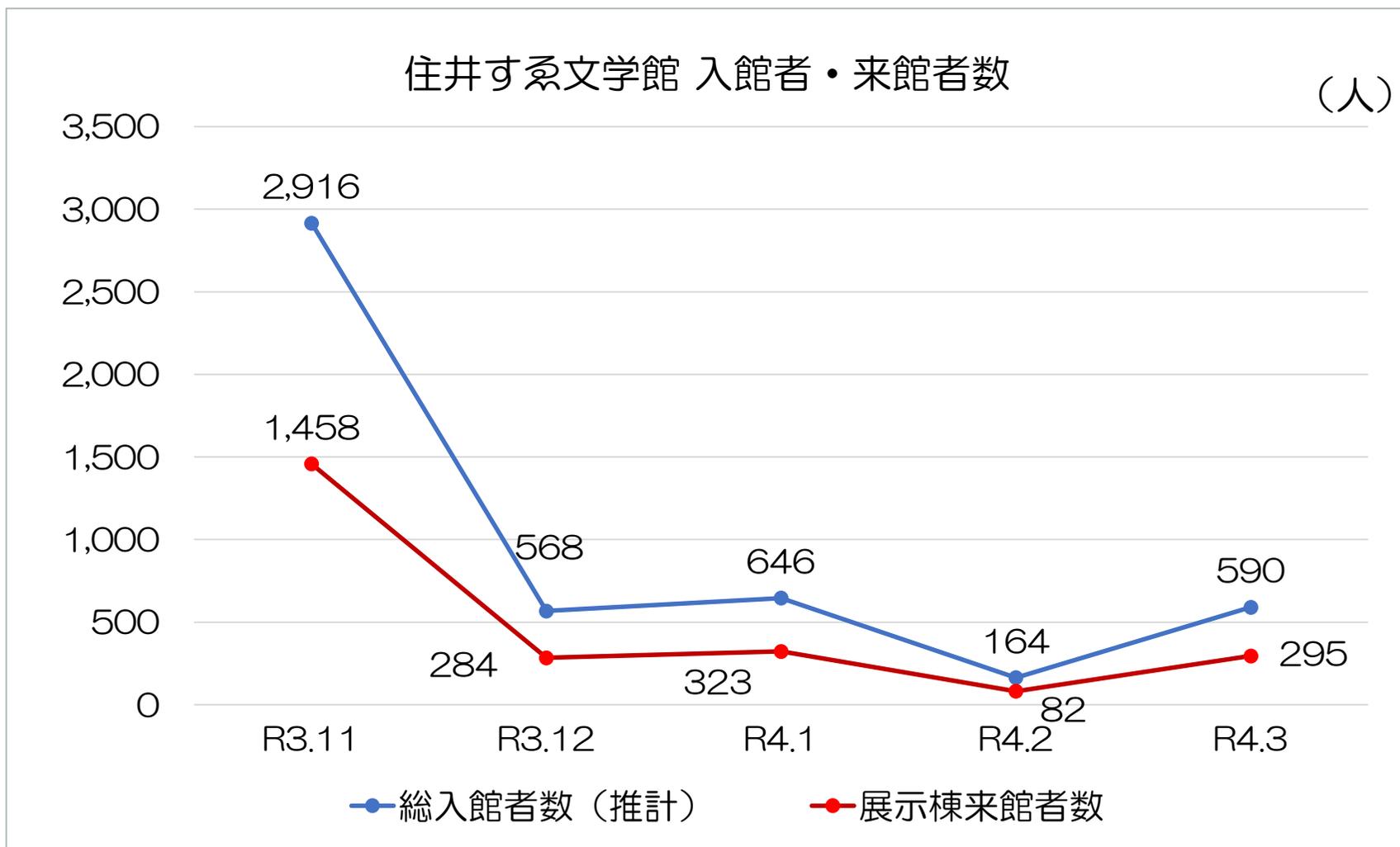


3-4. 住井すゑ文学館の公開活用

➤ 総合戦略での位置づけ

基本目標	基本施策	
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	4-2. 市民も観光客も楽しめるまちづくり	4-2-2. 文化のまちづくりの推進

➤ 実績



- 令和3年9月
コロナによる開館延期
- 令和3年11月3日
開館
- 令和4年1月
生誕120年記念上映
- 令和4年1月24日～2月21日
休館
- 令和4年2月22日
再開

4

令和3年度 地方創生事業の総括

4. 令和3年度地方創生事業の総括

➤ 牛久市の人口動態（「住民基本台帳人口」 R3.4～R4.3）

- 令和3年度の自然増減数 → **362人の減少**
（出生数： 470人／死亡数： 832人）
- 令和3年度の社会増減数 → **126人の増加**
（転入数： 3,328人／転出数： 3,202人）

➤ コロナ禍での地方創生事業の再開

- 感染症対策の徹底等による各種事業、イベントの順次再開
- テレワーカーの移住等、地方移住への関心の高まり

➤ 今後の取り組みの方向性

- 子育て、教育支援を中心とした**出生数の回復**
- 牛久市の地理的優位性を活かした**転入数の増加**

5

デジタル田園都市
国家構想総合戦略

5-1. 策定の背景

- 2022年12月 閣議決定
- 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂
- 計画期間は、2023年から2027年までの5か年
- “全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会”の実現を目指す

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等



地方のデジタル実装を downside

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

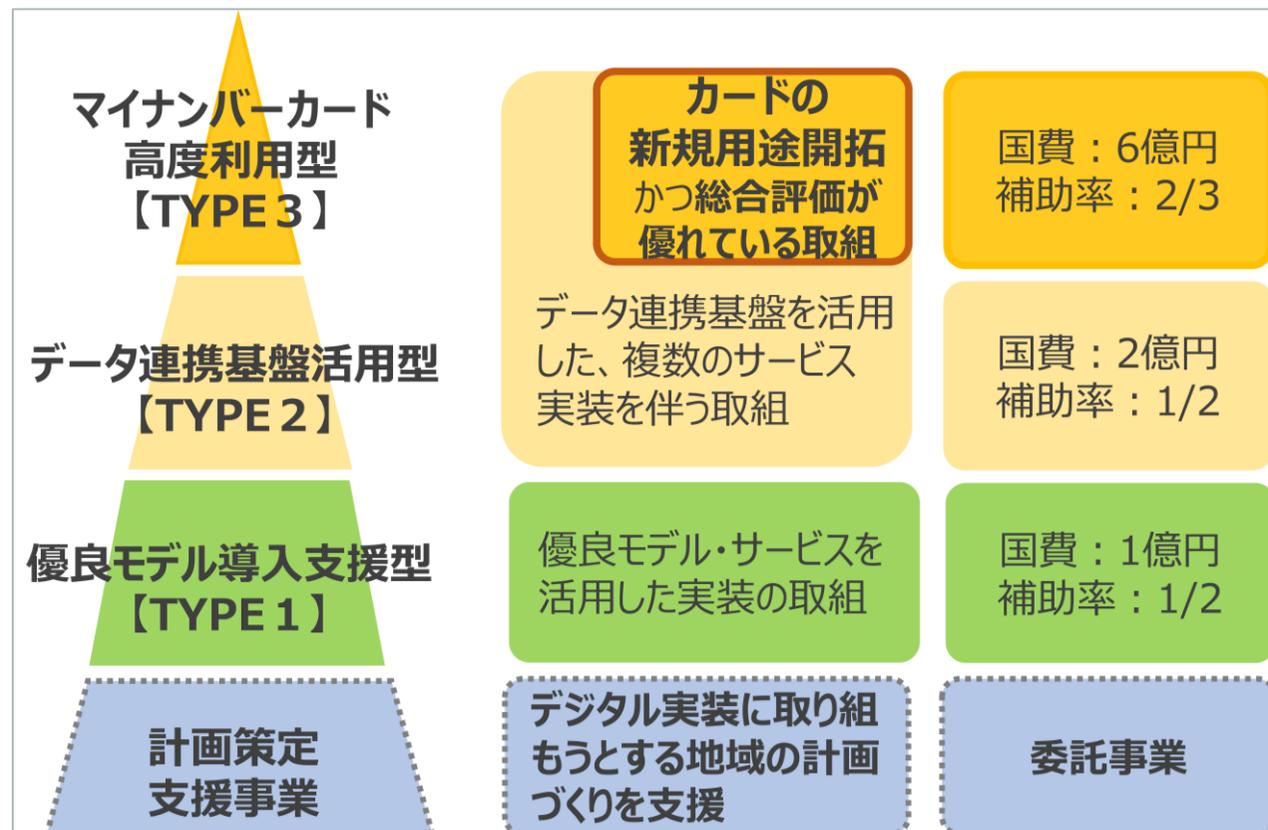


**国の総合戦略を勘案し、牛久市の実情に応じた
地方版総合戦略の策定・改訂に努める**

5-2. デジタル田園都市国家構想交付金

▶ 交付金のタイプ

デジタル 実装タイプ	【TYPE1】	他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組
	【TYPE2】	オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組
	【TYPE3】	(TYPE2の要件を満たす) 新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組
地方創生推進タイプ 地方創生拠点整備タイプ		デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援



(デジタル実装タイプの内容)

【TYPE3】
マイナンバーカードで各種市民サービスを利用
(図書館利用や避難所の受付等)

【TYPE2】
複数分野データ連携の促進による
共助型スマートシティ（会津若松市）

【TYPE1】

書かない窓口 地域アプリ 医療MaaS ドローン配送 遠隔医療